

海外大学

オンライン科目履修

ガイドライン

追手門学院大学

国際連携企画課

2025 年 3 月 21 日(第1版)

はじめに

コロナ禍以降、IT・インターネットを活用した新たな教育手法の展開や多様な学修ニーズに適合した教育ツールの開発が飛躍的に発展しています。

他方で、コロナ禍とそれに引き続く為替変動や世界的な物価高騰、頻発する国際紛争などの環境により、実際の海外渡航を伴う留学へ挑戦するハードルが高まっています。

こうした情勢や世界的な動向を受け、追手門学院大学では、海外大学がオンラインで提供する正課科目の履修ができる、海外大学オンライン科目履修のガイドラインを策定し、本学学生が海外渡航しなくとも、留学に近い環境で学修できる機会を提供します。

なお、本ガイドラインは、個々の学生が、海外渡航を含む留学の代替えとしてオンライン科目履修を検討している学生に対して、本学が連携する海外の大学のうち、オンライン科目履修ができる大学やその制度を紹介し、制度の活用を促進することを目的としています。

また、本学のマイクロクレデンシャル「グローバルコミュニケーションスキル」プログラムにおける「異文化実践」の選択肢として示されるオンライン科目の条件についても案内します。

特に、経済的環境や身体・健康面での状況、時間的な制約から海外渡航が難しい学生のみなさんは、海外渡航を含む留学に代わる機会として、海外大学オンライン科目履修に是非チャレンジしてください。

目次

I. 海外大学オンライン科目履修の概要	4
1. 趣旨・目的	4
2. 海外大学オンライン科目履修できる海外大学	4
3. 海外大学オンライン科目履修を行う際の海外大学での身分	5
4. 履修に関する注意点	5
5. 費用について	5
6. 履修に必要な要件について	5
7. オンライン科目の出願・開講時期について	6
II. 海外大学オンライン科目履修の進め方	7
1. 国際連携企画課への相談	7
2. 履修する科目に関する情報収集	7
3. (任意) マイクロクレデンシャルの要件の確認	7
4. 海外大学の科目履修への出願	7
III. 海外大学オンライン科目履修後の手続き	8
1. (任意) マイクロクレデンシャルに関する手続き	8
2. (任意) 科目の読み替え申請	8
IV. 問い合わせ先・FAQ	8
1. 問い合わせ先	8
2. FAQ	9

I. 海外大学オンライン科目履修の概要

1. 趣旨・目的

追手門学院大学に所属する学生が、それぞれのニーズや環境に応じて自由に学修する機会を提供するための一環として、本学が協定を締結している海外大学が展開するオンライン科目（以下、海外大学オンライン科目）を履修し、海外渡航しなくとも多様な国籍や文化的背景を持つ学生と一緒に学習する機会を提供する。

本ガイドラインでは、本学学生が海外大学オンライン科目を履修する際の一定のルールやその方法について案内を行う。

2. 海外大学オンライン科目履修できる海外大学

追手門学院大学では世界中の大学と協定を締結し、多様な環境で学習し、国際的な経験を積む機会を提供している。その中でも、教育の質や制度の活用しやすさを考慮し、以下の海外大学のオンライン科目履修を推進している。

カリフォルニア大学バークレー校
場所 アメリカ、カリフォルニア州バークレー市
歴史 カリフォルニア大学バークレー校は 1868 年に設立され、1873 年に現在のバークレーへ移転。1870 年に女子の入学が認められ、1874 年に最初の女性卒業生が誕生。20 世紀には研究と社会運動の中心地となり、アーネスト・ローレンスのサイクロトロン発明や 1964 年の言論の自由運動で注目される。21 世紀には STEM 分野や技術革新に注力し、2020 年には 2 億 5200 万ドルの寄付でデータサイエンスセンターを開設。現在もリベラルな教育機関として広く認められている。
概要 私立の名門校と肩を並べる公立大学で、「カリフォルニア大学システム」のフラッグシップ校。カリフォルニア大学システムで最初に誕生した学校で、50 人以上ものノーベル賞受賞者を輩出している。アメリカで最も蔵書の充実した図書館を備えるなど、学業面を支えるさまざまな施設が充実。多くのアスリートを輩出するなど、文武両道でも知られ、独特で自由な校風も特徴的。
ランキング Times Higher Education 世界大学ランキング（2025 年版）世界第 8 位
教育・研究の質 教員にはノーベル賞受賞者や企業と共同で研究をしている教授など、最先端の技術や著名な研究成果を持っている研究者が多く、レベルの高い教育が受けられる。また、入学の基準が非常に高いことから優秀な学生が多く集まり、切磋琢磨する環境が構築されている。
制度（サマーセッションズとは） 5 月から 8 月にかけて実施される夏学期（Summer Sessions）のみ、米国内外から学生の受入れを行っており、質の高い教育を提供している。毎年 600 以上ものコースが開講され、その分野は多岐にわたる。
時差 17 時間

3. 海外大学オンライン科目履修を行う際の海外大学での身分

海外大学オンライン科目履修は、原則として本学に在学し勉学を行う学生が、日本での勉学に加えて、海外大学が提供するオンライン科目履修制度を活用するものである。また、海外大学の同制度では、履修学生は科目等を履修する非正規学生として扱われる。

4. 履修に関する注意点

海外大学オンライン科目履修を行う学生は、原則として本学に在学し勉学を行うことが想定されていることから、本学での科目履修の時間割と重複しないように注意すること。

また、海外大学オンライン科目履修を行っていることを理由として、公式な行事の欠席は認められない。同様に、海外大学オンライン科目履修を理由として、各種手続きに対する特別な配慮は認められない。

5. 費用について

原則として、海外大学オンライン科目履修に参加するために必要な一切の費用は、科目履修を行う学生の負担とする。

上で示した海外大学におけるオンライン科目履修にかかる費用は以下の通り。但し、費用設定は、当該海外大学の裁量により変更される可能性があること、また科目により教材費がかかること、などがあることから、本制度を活用する際に必ず自身で海外大学に問い合わせ確認を行うこと。

(例) MATH N16B: 3 Units、ART 8: 4 Units 計 7 Units 履修した場合
授業料: \$615 (1Unit 当たりの授業料) x 7 Units = \$4,305
登録料: \$550
インターナショナルサービス料: \$500
文書管理料: \$71
合計 \$5,426

URL: <https://summer.berkeley.edu/international/registration-fees>

6. 履修に必要な要件について

上で示した海外大学においてオンライン科目履修をする場合には、原則として以下のいずれかの語学要件を満たす必要がある。また、次項で示す海外大学への出願手続きの中で、公式なスコア証明書の写し等の提出が求められるため、必要な証明書を予め手配しておく必要がある。

Cambridge Assessment	B2
----------------------	----

CEFR	B2, C1, C2
Computer-based TOEFL	213
Duolingo	115
IELTS	6.5
Internet-based TOEFL	80
TOEIC	685

URL : <https://summer.berkeley.edu/international/english-proficiency-requirement>

7. オンライン科目の出願・開講時期について

カリフォルニア大学バークレー校によるサマーセッションズには複数の科目開講時期がある。

開講期間	開始日	最終日
A - First Six-Week Session	5/27	7/3
B - Ten-Week Session	6/9	8/15
C - Eight-Week Session	6/23	8/15
D - Second Six-Week Session	7/7	8/15
E - Three-Week Session	7/28	8/15
F - Three-Week Session	7/7	7/25
12W - Twelve-Week Session	5/27	8/15

それぞれの開講時期により、出願の締切日も異なり、以下の通りである。

開講時期	出願締切日
A - First Six-Week Session	5/21
B - Ten-Week Session	6/4
C - Eight-Week Session	6/17
D - Second Six-Week Session	7/1
E - Three-Week Session	7/23
F - Three-Week Session	7/1
12W - Twelve-Week Session	5/21

この通り、開講時期の約 1 週間前が出願締切ではあるが、出願に不具合があり締切日までに完了できない場合や、出願時に履修登録も併せて行うことから、出願時期が遅いと科目の定員が充足され、希望する科目が履修できない恐れがあるので、早期の出願を強く推奨する。

URL : <https://summer.berkeley.edu/registration/schedule#deadlines>

II. 海外大学オンライン科目履修の進め方

1. 国際連携企画課への相談

海外大学オンライン科目履修を検討する場合には、必ず予め国際連携企画課へ連絡し、説明を受けた上で検討を進めること。

2. 履修する科目に関する情報収集

以下に示される Course Catalogue 等から、興味・関心のある科目を選定し、本学での科目履修と並行して学修を進めることが可能か検討すること。開講時期、時間割、時差、課題の負担等が考慮事項として考えられる。

URL: <https://summer.berkeley.edu/courses/online>

3. (任意) マイクロクレデンシャルの要件の確認

本学のマイクロクレデンシャル「グローバルコミュニケーションスキル」プログラムの「異文化理解」の取得後に、「異文化実践」のマイクロクレデンシャルの取得を目指す場合、本ガイドラインで示す条件を満たす正課科目を履修し単位を取得することで要件を満たすことができる。

- リアルタイムの意見交換を 10 時間以上含む科目であること。
- 本学が通常提供する科目と同等の学修時間が含まれる科目であること。

必ず事前に国際連携企画課に連絡・相談し、要件を満たす科目であるか確認をすること。

4. 海外大学の科目履修への出願

以下の URL の注意事項をよく確認の上、URL 内の出願ページから出願すること。なお、出願を決意した学生には出願ページでの選択事項等を記載した参考資料を別途付与するので、その資料を参考にすると出願が容易になる。

URL: <https://summer.berkeley.edu/apply>

Ⅲ. 海外大学オンライン科目履修後の手続き

1. (任意) マイクロクレデンシャルに関する手続き

Study Guide の該当項目を確認し、登録手続きを行うこと。

URL: <https://www.otemon.ac.jp/education/teaching/study/license02.php>

2. (任意) 科目の読み替え申請

オンライン留学で修得した科目の単位について、本学学則第 24 条の定めるところにより本学の単位として読み替えを申請することができる。以下の項をよく読み手続きを行うこと。

【留学中】 以下 3 点を、授業開始後 14 日以内に、[ogu-outbound@otemon.ac.jp]へ提出する。

- ①留学履修計画書（書式 1）
- ②シラバス
- ③Contact Hours（書式 2）

→各学部にて、科目の読替可能性について確認を行った上、読替可能性のある本学の科目名を示した留学履修計画書を返信する。（※「読替可能性」であることに注意。実際の読替申請は帰国後の手続き（以下参照）であり、資料を踏まえて総合的に読替の判断が行われることに注意。）

【帰国後】 以下 3 点を授業終了後 14 日以内に[Student Support]へ提出する

- ①授業で使用した教科書一式
- ②授業で作成したノート類一式
- ③協定大学が作成した修了証明書、単位認定証明書もしくは成績証明書の原本

Ⅳ. 問い合わせ先・FAQ

1. 問い合わせ先

OIDAI アプリ内の「国際連携企画課：お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

2. FAQ

Q1. 渡航が必要ですか。

A1. オンラインで提供される科目を履修する制度ですので、渡航は不要です。誤って渡航を含む科目を履修登録しないようご注意ください。

Q2. 海外へ実際に渡航したいのですが、可能ですか。

A2. 原則「不可」です。本ガイドラインで示しているカリフォルニア大学バークレー校の Summer Sessions は 5～8 月に開催されており、本学の春学期と重複していることから、渡航は想定していません。

Q3. 渡航して、カリフォルニア大学バークレー校の Summer Sessions に参加したいのですがどうすればよいですか。

A3. 一般論として、本学の春学期を休学し自身で留学を計画・渡航することが考えられます。但し、休学することで卒業時期が先延ばしになること、各学部学科のカリキュラムの途中で渡航することから、当初の学修計画に大きな影響が出ます。休学等を検討する際には、必ず指導教員や Student Support へ相談して進めてください。

Q4. 単位は修得できますか。

A4. この「海外大学オンライン科目履修」への参加によって本学で修得できる単位はありません。海外大学の科目履修によって正式に単位付与があった場合、一定の条件を満たすことで、所属する学部 に修得科目の本学での認定手続きを申請することはできます。学外の科目の認定の手続きについては Student Support へ確認してください。

Q5. 費用はどれくらいかかりますか。

A5. 「5. 費用について」を確認してください。費用はドル建てで請求があるため、為替により日本円の費用は日々変わりますのでご注意ください。

Q6. 授業についていけないのですがどうしたらよいですか。

A6. 多くの科目は、「英語でコミュニケーションができる前提」で授業が行われます。このことから、英語に不安がある学生は、事前の準備を行うことが重要です。例えば、YouTube 等の動画サイトでは、海外大学の授業動画があるので一定程度授業での英語に慣れることができますし、シラバスには授業で使用する基礎文献が記載されることが通例です。事前に基礎文献を読み通しておくことで、授業の展開や教員の扱う論点を先に理解しておく、などの準備が可能です。

Q7. この制度のメリットは何ですか。

A7. 海外大学のオンライン科目履修の制度は以下のようなメリットがあります。

- 高額な渡航費・滞在費を負担することなく、現地授業料のみの負担で海外大学の講義等を受講することができる。
- 家族の事情や身体 の状況から中長期の海外渡航に挑戦できない学生に対し、海外の学生と一緒にバーチャルに学修する機会を提供。
- 追手門学院大学では提供していない膨大な科目・学問分野の専門知識の修得にチャレンジできる。

Q8. この制度を活用しどのようなスキル・能力が身につきますか。

A8. 海外大学オンライン科目履修の制度を活用することで以下のようなスキル・能力を修得できます。

- オンラインでディスカッションやプロジェクトを行う科目を履修することで、多様な文化的・社会的背景を持つ外国人と協働し成果を達成する異文化適応や異文化コミュニケーション能力が獲得できます。
- 英語基礎力を前提にオンライン科目履修に挑戦し、ディスカッションやプロジェクト、成果発表などを通して、英語でアウトプットする力が身につきます。
- グローバルな企業や部署では、日々英語で的確に作文・資料作成する力が求められます。エッセイ（小論文）の執筆や発表資料作成などを通して、英文作成能力が飛躍的に伸びます。
- 国際的な会議では、世界中をオンラインで接続し、日々オンライン電話や会議が行われます。オンラインでのディスカッションやプレゼンテーションなどの機会を通して、そのやり方や進め方などを体験的に習得できます。

Q9. カリフォルニア大学バークレー校以外の海外大学でオンライン科目履修することは可能ですか。

A9. 一般論として可能です。本ガイドラインでは、海外大学のオンライン科目履修に挑戦する学生に対して、大学として連携しており、且つ手続きが簡易で最も挑戦しやすいカリフォルニア大学バークレー校の Summer Sessions を紹介しています。

逆に言えば、本学で情報を持っていない他大学の制度については、学生本人の責任において情報収集から行う必要があります。

Q10. 計画不足で追大の科目と Summer Sessions の科目の時間帯が重複してしまいました。どうしたらいいですか。

A10. 追大の科目履修を最優先してください。基本的には、オンライン科目履修を検討する際に細心の注意を払って、重複しないよう綿密な計画をすることが重要です。

Q11. 参加中ですが、海外の科目履修は予想以上に負荷が高かったです。どうしたらいいですか。

A11. 一般的に日本と異なり、海外の科目では多くの課題や参加が求められますので、履修計画をしっかりと立てることが肝要です。事後的に負荷が高いと判明した場合は、最悪の場合 Summer Sessions の科目履修を途中でやめるなどの判断も必要になりますので、事前の計画が重要です。

Q12. Summer Sessions とありますが、夏以外の季節も参加可能ですか。

A12. 現時点ではありません。カリフォルニア大学バークレー校が、海外からの学生に科目履修を許可しているのは、現状で夏学期の Summer Sessions だけです。

Q13. Summer Sessions で科目履修をしましたが、残念ながら単位を落としてしまいました。本学の成績に影響はありますか。

A13. 基本的にはありません。単位修得をした場合は、本学の科目の単位認定の申請ができます。単位を落とした場合、この認定の申請ができないこと以外に、本学の成績に影響がでることはありません。

以上